

平成30年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------------|--|----------------|------------|
| 事業所番号 | 1493500167 | 事業の開始年月日 | 平成24年4月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成24年4月1日 |
| 法人名 | 株式会社 メディカルケアシステム | | |
| 事業所名 | グループホーム ちいさな手 癒しの里横浜さかえ | | |
| 所在地 | (247-0005) | | |
| | 横浜市栄区桂町716 | | |
| サービス種別 定員等 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 | 登録定員 | 名 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 通い定員 | 名 |
| | | 宿泊定員 | 名 |
| | | 定員計 | 18 名 |
| | | ユニット数 | 2 ユニット |
| 自己評価作成日 | 平成30年10月30日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成31年3月15日 |

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1日楽しくをモットーにお手伝いやレクリエーション時、笑い声が響いており、行事の催しでは楽しい企画を考え入居者さまを盛り上げております。お天気のよい日は近くにある遊歩道を散策し季節ごとに咲く草花を観察しております。外出も皆様のご要望に応じ買い物や映画、鎌倉散策など外に出る機会を設けており地域の催し敬老会、音楽会等にも参加し地域交流にも努めております。毎月、区役所から派遣されました相談員さんが来所され入居者様と生活状況などお話をし下さり、ご意見を傾聴して頂いております。医療と介護の連携を重視しており日々の体調管理も訪問診療の医師、訪問看護の看護師、介護スタッフと医療連携に努めておりお看取りも行っております。常に、入居者様第一に視点を置きスタッフとのつながりを大切にしております。今年度より認知症の進行予防の一環として脳トレを実施致しております。パズル、文字遊び、間違い探し、塗り絵等皆様より好評頂いております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|---------------|------------|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 〒251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成30年12月11日 | 評価機関 評価決定日 | 平成31年3月12日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、JR本郷台駅から徒歩10分、いたち川遊歩道を脇に入った場所にあります。周辺は落ち着いた佇まいの住宅街です。ツートンカラーの洒落た建物は、道案内の目印になり、近隣に溶け込んでいます。南北に大きな窓があり、日当りの良い明るく開放的なグループホームです。

<優れている点>

自分の洋服を隠す人、入居に納得できない人、夜間の強烈な不安感など、利用者一人ひとりへの対応について話し合いを重ね、同じ方向を見て介護しています。また、看取りケアに取り組み、職員は学びを深めています。開設当初から在職している管理者は、ゆとりある人員配置、有給消化率の向上、内部外部の計画的な研修の実現など、職員のモチベーションアップに配慮し、定着率の高さに繋がっています。室内は清掃が行き届き、秩序ある職場環境となっています。日頃から近隣の明るい元気な挨拶を心掛けています。行事の手伝いをする家族、ウッドデッキで野菜を直売するオーナー、散歩中に声をかけてくる近隣の人、スーパーマーケットで出会った音楽ボランティアなど、事業所は沢山の応援者に見守られています。

<工夫点>

職員同士が、相手のちょっとした行動への感謝の気持ちを「ハッピーレター」で伝え合っています。「○○さん、おやつ 아이디어をありがとう」などと書いたメッセージがボードに貼られ、良好な人間関係づくりに役立っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|-------------------------|
| 事業所名 | グループホーム ちいさな手 癒しの里横浜さかえ |
| ユニット名 | 1階 |

| V アウトカム項目 | |
|---|------------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ 1, ほぼ全ての利用者の |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいの |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいの |
| | ○ 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ 1, 毎日ある |
| | ○ 2, 数日に1回程度ある |
| | ○ 3, たまにある |
| | ○ 4, ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |

| | |
|--|------------------|
| 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ 1, ほぼ全ての家族と |
| | ○ 2, 家族の2/3くらいと |
| | ○ 3, 家族の1/3くらいと |
| | ○ 4, ほとんどできていない |
| 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ 1, ほぼ毎日のように |
| | ○ 2, 数日に1回程度ある |
| | ○ 3, たまに |
| | ○ 4, ほとんどない |
| 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ 1, 大いに増えている |
| | ○ 2, 少しずつ増えている |
| | ○ 3, あまり増えていない |
| | ○ 4, 全くいない |
| 66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ 1, ほぼ全ての職員が |
| | ○ 2, 職員の2/3くらいが |
| | ○ 3, 職員の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ 1, ほぼ全ての家族等が |
| | ○ 2, 家族等の2/3くらいが |
| | ○ 3, 家族等の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 入職時にオリエンテーションで新人ハンドブックを用いて理念に基づき就業すよう説明している。合同ミーティングにて会社理念の勉強会を設けている。毎朝申し送り時にスタッフ皆で理念を読み上げております。 | 理念は、毎朝の唱和や勉強会を通じて職員に定着しています。「一人ひとりの幸せをつなげて、大きな幸せになる」との言葉を大切にしています。日頃から、利用者、家族、地域の人々、職員同士の関わりの中で、理念をよりどころとした行動を心掛けています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 自治会に参加しており、町内会で行う行事、夏祭り、農協祭りに参加しております。また、地域で開催する草刈清掃や防災訓練に積極的に参加して居ります。家族会に地域の方々もお呼びし健康セミナーを開催致しました。 | 近隣との明るい挨拶が聞こえています。しばらく顔を合わせないと、お互いに心配し合う関係です。地元町内会の行事や、広域町内会の夏祭りに参加しています。健康セミナーでは薬剤師を招いて、認知症の症状や薬についての講演会を開催しています。 | 地域とは顔の見える関係ができています。更に一歩進み、子ども達などの世代間交流も期待されます。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 町内会恒例の地域清掃草刈に参加し地域の方々と会話され交流して居ります。顔見知りになった方々と散歩時等世間話をされております。近所の方々を招き健康セミナーを開催する。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進委員会では各職種や町内会の民生委員の方ご家族様が参加され意見交換や情報交換を行い、活動の助言や感想を頂きホームの運営に活用をさせて頂いております。 | 運営推進会議は隔月に開催し、横浜市役所と地域ケアプラザの職員が交代で参加しています。オーナーや看護師も出席し、話題は多岐にわたっています。地域行事に参加した感想を伝え、ヒヤリハット事例や職員の異動も報告し、事業所運営への理解が深まっています。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 区より派遣された介護相談員2名の受け入れをし、月に1回訪問されて入居者様と親交を深め相談事など傾聴して頂いて居ります。栄区セーフコミュニティーの会合に参加し意見交換を行っています。 | 定期的に「癒しの里新聞」と「運営推進会議会議録」を区役所に郵送しています。地域ケア会議に参加し、認知症困難事例を共に検討するなど、地域でのつながりも大切にしています。また、栄区感染症対策研修会や自治体主催の講演会に積極的に出席しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 年間4回程、身体拘束防止について合同ミーティングで勉強会を行ったり周知している。スタッフより日頃の介護で知らないうちに拘束している場合もあるか意見交換し身体拘束、虐待について正しく理解すよう努めている。 | 玄関は防犯の観点から施錠をしていますが、フロアは出入り自由にしてあります。段差移動などの転倒リスクに関して家族の了解を得ています。日頃から、何が拘束にあたるのかを、職員間で話し合っています。身体拘束廃止に関する方針を整備しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 年間4回程、虐待防止について勉強会を行なっている。介護面ではストレスが溜まらない様に意見を聞いたり皆で共用し改善方法を考えている。入浴時のアザ等チェックし観察している。アザがある場合どうしてできたか話合っている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 後見人制度については管理者自ら学び必要に応じては助言をしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約時には各説明書を読み上げ疑問点や質問を受け十分な説明を行っている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 運営推進委員会の参加と家族会にて意見を伺う機会を設けている。質疑応答している。玄関に意見箱を設置し気軽に投稿出来る様になっている。 | 運営推進会議や家族会では、看取りに関する要望が増えています。最期までホームで過ごしたい、状態変化へ適切に対応してもらいたいなど、一人ひとりの要望を聞く機会としています。また、面会に訪れた家族から、積極的に意見を聞くように努めています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 定期的に行う面談と毎月行う合同ミーティングにて意見を反映している。 | ミーティングは、全員が率直に意見を言える場となっています。年2回の面談では、管理者と真摯な対話ができています。「人づくり」を大切にす風通しの良い職場環境は、職員の定着率やモチベーションの維持向上につながっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 年に1回評価表を記入している。面談時個人の意見を考慮し改善に努力している。代表者は年に数回事業所を訪問し環境状態や職員の状態を確認している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 毎月、年間研修項目を学び意見交換を行っている。外部研修に参加しミーティングにて伝達し共有してスタッフのスキルアップに努めています。合同ミーティングにてオムツ交換、移動、食事介助について学んでいる。歯科研修、薬剤師による勉強会を設けている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 外部研修時に他の事業者の方々と意見交換を行っている。栄区主催セーフコミュニティ研修に参加し他職種の意見交換が行われ交流が持っている。良い情報はミーティングにて共有しサービス向上に努めている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前にご本人様とゆっくり会話し情報を聴き出し今後安心して生活出来る様に実態調査を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 入居相談の時に入居に至った経過や様子を丁寧にお聞きし要望を把握して良い関係が築ける様に努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 詳しくお話しを伺い実態調査を行いグループホームに適正であるか否か判断し必要に応じて他の施設等の介護サービスを紹介している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 日々の介護から一人一人と人間関係を築き尊重し、又、居室担当を設け個々に話し合う時間を設けている。仲間と過ごす時間、お手伝いやレクリエーションを共にを行い良い関係を築いています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族様とご本人様の関係を十分に理解し把握し配慮しながらご家族様と共にご本人様を支えております。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 初めての来客者があった場合はご家族様に面会の確認を取っている。前もって初来客者は連絡を頂く様お願いしている。手紙や電話、お友達の来訪はその都度対応しております。 | 毎月家族と墓参りに行く人や、我が家に帰って一休みする人もいます。入居前からの馴染みの喫茶店で軽食を摂るのを楽しみにしている人もいます。親族や旧友からの電話を取り次ぎ、事務室でゆっくりと会話できるように支援しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 一人一人の人間関係を把握しサービス担当者会議で共有し合いケアプランに盛り込んでいる。認知症進行予防のため折り紙レクリエーションを適宜設け会話を通しながら交流を持てるように配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 亡くなられて退去になられたご家族様とその後連絡を取り近況のご様子を伺っている。退去されたご家族様がイベントのお手伝いに来てくださる。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 常に入居者様主体をホームの方針として統一している。ケアプランもご家族様のご希望やご本人様本位のものとなる様心掛けている。 | 利用者の言葉を聴き取り、居室担当者が「私をわかってシート」に記入しています。「私の不安、苦痛、悲しみ。私が嬉しい事、楽しい事、やりたい事」を表したシートで、職員は利用者の気持ちを共有しています。医療や看取りについても記載しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居前の実態調査の時にご家族やご本人様よりしっかり伺いフェースシートを作成している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 毎日、バイタル測定をしている。個人記録によろすを記載している。認知症予防の一環として手芸や折り紙、習字など提供し楽しみながら心身状態の向上、現状の観察に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ご自身の意見が伝えられる方は聞き取りを行い、ご家族様にその意向を伺いその内容を介護計画に反映している。 | 日頃の関わりの中で、利用者や家族の思いや意見を聞いています。モニタリング記録票には本人意見欄を設けています。フロアミーティングでは「楽しく穏やかに過ごすためには、どんな支援が必要か」を毎回話し合い、随時介護計画の見直しに繋げています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 介護記録に残し各フロアミーティングにて情報を共有している。特記がある場合は別紙の個人記録に記載し情報を共有している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | ご要望などは出来る限り柔軟な姿勢で対応している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 地域の公会堂にて催し物などに参加している。ニーズに合わせて支援できる様にしている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 訪問診療時お1人様毎に医師がお声掛け路行っている。ご希望に応じてご本人様ご家族様とかかりつけ医との面談（ムンテラ）を行い病状の説明や治療方法など丁寧にお話しして納得のいく医療介護を行っている。 | 月2回、協力医療機関から内科の医師と看護師の往診があり、入居者全員を診察しています。専属の看護師と薬剤師も立ち会い、情報を共有しています。眼科、心療内科など、従来からのかかりつけ医を受診している人もいます。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 24時間のオンコールの連携がとれている。看護師は常に入居者の身体状況を把握しており適切に医師との橋渡しをしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、ご家族様やHPのNSW、NS等へ連絡を取り、情報交換に努めている。早くホームに戻れる様支援している。病院主催の研修などに参加している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 入居の際にきちんとご説明し看取り介護について確認している。ご家族の意向を伺い心身の状況が変わる毎に医師、看護師、介護で話し合いをしている。 | 入居時に本人と家族の考え方を聞き、重度化に際しての文書を交しています。重度化した場合には意向を改めて確認し、医師の意見も参考に方針を定めています。事業所はほぼ毎年看取りを経験しており、職員の研修も定期的を実施しています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 定期的に勉強会を設け実践力をつけていく。消防署にお願いAEDの使用方法や心肺蘇生の講習を受けている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制度を築いている。 | 避難訓練を年に2回実施している、内容を全職員で共有し周知している。地域の防災訓練に参加し、また、運営推進委員会において地域の方々にアドバイスを頂いている。今年度は水浸避難訓練を行う。 | 避難訓練は消防署や町内会の協力を得て年2回行っており、本年度より水浸避難訓練も実施しています。町内会からは避難した際の見守りの協力が得られ、次の消防訓練から実施する予定です。自治会の消防訓練にも職員が参加しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 入職時にオリエンテーションで新人ハンドブックを用いて接遇について勉強している。声掛けについてミーティングにて勉強している。 | 原則として名字に「さん」づけで呼称しています。言葉遣い、接遇、入居者の不穏時の対処方法などをミーティングの際に勉強しています。個人に係る書類は鍵のかかるロッカーに保管し、「個人情報保護」の研修も実施しています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 必ずご本人様に選択して頂けるよう提供している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 強制は一切せず個々好きな場所です自由にお過ごしして頂いている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 起床時や入浴後は、ご本人様と一緒に好きな洋服を選んで頂いたり、化粧品を使用したりしている。毎月の訪問理美容にてご本人様の意向を尊重している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 必ず入居者様に声掛けを行い無理の無いようにやって頂いている。その方の得意な事をお願いしている。 | 週に5回業者から食材が届き、フロアごとに職員が調理しています。入居者は調理、配膳、片付けなど、得意な分野で手伝っています。外食は入居者の希望を聞き、中華、洋食、和食と目先を変えて実施しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 必要に応じて刻みや栄養補助職員を提供している。ミキサーやカロリー制限等対応している。一日の水分量は確認し確保できる様摂取をして頂いている。嚥下や咀嚼困難になった場合は、訪問嚥下歯科を受診している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後口腔ケアを実施している。週1回の訪問歯科診療により口腔内の状態を保っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 一人一人の排泄パターンを確認し排泄チェックを行いトイレ中心の介助を実施している。 | 排泄チェック表の活用と、入居者を見守ることなどで、尿意や便意を把握し、できるだけトイレに誘導しています。自宅で家族に頼っていた人が、入居後に自立を心がけた結果、リハビリパンツから布パンツに変わった例があります。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 便通を把握し食事量や水分量を管理し予防に努めている。出来るだけ散歩を促し運動の働きかけをしている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | ご本人の希望をお聞きしゆっくり1対1で介助をしている。入浴では足浴をしながらリラックスできる様に支援している。時々、入浴剤を使用し気分転換して抱く。 | 以前は毎日でしたが、現在は月曜、木曜の週2回とし、散歩など外出の機会を多くしています。入浴日には全員が入浴し、職員が1対1で対応しています。入浴後にクリームを全身に塗るなど、保湿にも留意しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 休憩時にはお茶をお出ししたりゆっくりリラックスして頂ける様、配慮している。入床前は安心して頂けるよう声掛けを行い居室の温度調整をし安眠できる様支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | スタッフ一人一人理解し、薬が変更になった場合は記録し、各自が把握するよう努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | その方に合った役割を見出し、掃除、洗濯干し、洗濯たたみ、食器拭き等お手伝いをして頂いている。また、毎日レクリエーションや散歩、買い物に行かれ楽しんで頂いている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 雨の日以外は、ほぼ毎日散歩に出掛けている。また、個別外出レクを実施しており行きたい所をお聞きして出来る限り希望に添える様支援している。 | 月、木の入浴日以外に、通常午前と午後の2回、近くに散歩に出かけています。スーパーマーケットやドラッグストアへの買い物にも同行しています。外出できない雨天などには、室内でできるぬり絵、カラオケ、カードゲームなどを楽しんでいます。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | ご自分でお金の管理できる方以外はホームで現金をお預かりしてはしておりません。買い物など必要な時は立替えをし出来る方はレジにて支払いをして頂き社会生活が持続できる様支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご家族様、ご本人様にお電話やお手紙を頂いた時は、やりとりが出来る様支援している。ご本人様の要望にも応えています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 常に清潔を保持するよう毎日掃除を行っている。快適な湿度、温度を心掛けている。草花を飾り楽しんで頂いている。季節の絵等壁に飾っている。 | 「整理、整頓、清掃、清潔、しつけ」の5つの指針の下に行動しており、リビング、トイレなどの共用空間を朝夕2回清掃しています。空調、照明、空気の入れ替えにも配慮しています。壁には書道や絵画など、入居者の作品を飾っています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングにテーブル、椅子、テレビ前にソファを配置し自由にくつろぐ空間を提供している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご家族様やご本人様の希望等相談し今まで使用していた使いなれた家具や椅子を持って来られている。居室担当者と衣類等整理整頓をしている。 | エアコン、クローゼット、ベッドなどは備え付けで、入居者は衣料、枕などの日用品や、テレビ、仏壇などを持ち込んでいます。居室担当者は入居者の様子を定期的に家族に伝え、衣替えなどを手伝い、相談相手にもなっています。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | リビング、浴室、トイレに手すりをつけバリアフリーな設計をしている事でご自分で行える事はやって頂ける様サポートできている。 | | |

| | |
|-------|-------------------------|
| 事業所名 | グループホーム ちいさな手 癒しの里横浜さかえ |
| ユニット名 | 2階 |

| V アウトカム項目 | |
|---|------------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ 1, ほぼ全ての利用者の |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいの |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいの |
| | ○ 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ 1, 毎日ある |
| | ○ 2, 数日に1回程度ある |
| | ○ 3, たまにある |
| | ○ 4, ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |

| | |
|--|------------------|
| 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ 1, ほぼ全ての家族と |
| | ○ 2, 家族の2/3くらいと |
| | ○ 3, 家族の1/3くらいと |
| | ○ 4, ほとんどできていない |
| 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ 1, ほぼ毎日のように |
| | ○ 2, 数日に1回程度ある |
| | ○ 3, たまに |
| | ○ 4, ほとんどない |
| 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ 1, 大いに増えている |
| | ○ 2, 少しずつ増えている |
| | ○ 3, あまり増えていない |
| | ○ 4, 全くいない |
| 66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ 1, ほぼ全ての職員が |
| | ○ 2, 職員の2/3くらいが |
| | ○ 3, 職員の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ 1, ほぼ全ての利用者が |
| | ○ 2, 利用者の2/3くらいが |
| | ○ 3, 利用者の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |
| 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ 1, ほぼ全ての家族等が |
| | ○ 2, 家族等の2/3くらいが |
| | ○ 3, 家族等の1/3くらいが |
| | ○ 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 入職時にオリエンテーションで新人ハンドブックを用いて理念に基づき就業すよう説明している。合同ミーティングにて会社理念の勉強会を設けている。毎朝申し送り時にスタッフ皆で理念を読み上げております。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 自治会に参加しており、町内会で行う行事、夏祭り、農協祭りに参加しております。また、地域で開催する草刈清掃や防災訓練に積極的に参加して居ります。家族会に地域の方々もお呼びし健康セミナーを開催致しました。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 町内会恒例の地域清掃草刈に参加し地域の方々とは話され交流して居ります。顔見知りになった方々と散歩時等世間話をされております。近所の方々を招き健康セミナーを開催する。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進委員会では各職種や町内会の民生委員の方ご家族様が参加され意見交換や情報交換を行い、活動の助言や感想を頂きホームの運営に活用をさせて頂いております。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 区より派遣された介護相談員2名の受け入れをし、月に1回訪問されて入居者様と親交を深め相談事など傾聴して頂いて居ります。栄区セーフコミュニティーの会合に参加し意見交換を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 年間4回程、身体拘束防止について合同ミーティングで勉強会を行ったり周知している。スタッフより日頃の介護で知らないうちに拘束している場合もあるか意見交換し身体拘束、虐待について正しく理解すよう努めている。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 年間4回程、虐待防止について勉強会を行なっている。介護面ではストレスが溜まらない様に意見を聞いたり皆で共用し改善方法を考えている。入浴時のアザ等チェックし観察している。アザがある場合どうしてできたか話合っている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 後見人制度については管理者自ら学び必要に応じては助言をしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約時には各説明書を読み上げ疑問点や質問を受け十分な説明を行っている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 運営推進委員会の参加と家族会にて意見を伺う機会を設けている。質疑応答している。玄関に意見箱を設置し気軽に投稿出来る様になっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 定期的に行う面談と毎月行う合同ミーティングにて意見を反映している。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 年に1回評価表を記入している。面談時個人の意見を考慮し改善に努力している。代表者は年に数回事業所を訪問し環境状態や職員の状態を確認している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 毎月、年間研修項目を学び意見交換を行っている。外部研修に参加しミーティングにて伝達し共有してスタッフのスキルアップに努めています。合同ミーティングにてオムツ交換、移動、食事介助について学んでいる。歯科研修、薬剤師による勉強会を設けている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 外部研修時に他の事業者の方々と意見交換を行っている。栄区主催セーフコミュニティ研修に参加し他職種の意見交換が行われ交流が持っている。良い情報はミーティングにて共有しサービス向上に努めている。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前にご本人様とゆっくり会話し情報を聴き出し今後安心して生活出来る様に実態調査を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | 入居相談の時に入居に至った経過や様子を丁寧にお聞きし要望を把握して良い関係が築ける様に努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 詳しくお話しを伺い実態調査を行いグループホームに適正であるか否か判断し必要に応じて他の施設等の介護サービスを紹介している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | 日々の介護から一人一人と人間関係を築き尊重し、又、居室担当を設け個々に話し合う時間を設けている。仲間と過ごす時間、お手伝いやレクリエーションを共に行い良い関係を築いています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族様とご本人様の関係を十分に理解し把握し配慮しながらご家族様と共にご本人様を支えております。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 初めての来客者があった場合はご家族様に面会の確認を取っている。前もって初来客者は連絡を頂く様お願いしている。手紙や電話、お友達の来訪はその都度対応しております。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 一人一人の人間関係を把握しサービス担当者会議で共有し合いケアプランに盛り込んでいる。認知症進行予防のため折り紙レクリエーションを適宜設け会話を通しながら交流を持てるように配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 亡くなられて退去になられたご家族様とその後も連絡を取り近況のご様子を伺っている。退去されたご家族様がイベントのお手伝いに来てくださる。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 常に入居者様主体をホームの方針として統一している。ケアプランもご家族様のご希望やご本人様本位のものとなる様心掛けている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居前の実態調査の時にご家族やご本人様よりしっかり伺いフェースシートを作成している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 毎日、バイタル測定をしている。個人記録によろすを記載している。認知症予防の一環として手芸や折り紙、習字など提供し楽しみながら心身状態の向上、現状の観察に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ご自身の意見が伝えられる方は聞き取りを行い、ご家族様にその意向を伺いその内容を介護計画に反映している。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 介護記録に残し各フロアミーティングにて情報を共有している。特記がある場合は別紙の個人記録に記載し情報を共有している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | ご要望などは出来る限り柔軟な姿勢で対応している。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 地域の公会堂にて催し物などに参加している。ニーズに合わせて支援できる様になっている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 訪問診療時お1人様毎に医師がお声掛け路行っている。ご希望に応じてご本人様ご家族様とかかりつけ医との面談（ムンテラ）を行い病状の説明や治療方法など丁寧にお話しして納得のいく医療介護を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 24時間のオンコールの連携がとれている。看護師は常に入居者の身体状況を把握しており適切に医師との橋渡しをしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は、ご家族様やHPのNSW、NS等へ連絡を取り、情報交換に努めている。早くホームに戻れる様支援している。病院主催の研修などに参加している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 入居の際にきちんとご説明し看取り介護について確認している。ご家族の意向を伺い心身の状況が変わる毎に医師、看護師、介護で話し合いをしている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 定期的に勉強会を設け実践力をつけていく。消防署にお願いAEDの使用方法や心肺蘇生の講習を受けている。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 避難訓練を年に2回実施している、内容を全職員で共有し周知している。地域の防災訓練に参加し、また、運営推進委員会において地域の方々にアドバイスを頂いている。今年度は水浸避難訓練を行う。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 入職時にオリエンテーションで新人ハンドブックを用いて接遇について勉強している。声掛けについてミーティングにて勉強している。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 必ずご本人様に選択して頂けるよう提供している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 強制は一切せず個々好きな場所で自由にお過ごしして頂いている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 起床時や入浴後は、ご本人様と一緒に好きな洋服を選んで頂いたり、化粧品を使用したりしている。毎月の訪問理美容にてご本人様の意向を尊重している。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 必ず入居者様に声掛けを行い無理の無いようにやって頂いている。その方の得意な事をお願いしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 必要に応じて刻みや栄養補助職員を提供している。ミキサーやカロリー制限等対応している。一日の水分量は確認し確保できる様摂取をして頂いている。嚥下や咀嚼困難になった場合は、訪問嚥下歯科を受診している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 毎食後口腔ケアを実施している。週1回の訪問歯科診療により口腔内の状態を保っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 一人一人の排泄パターンを確認し排泄チェックを行いトイレ中心の介助を実施している。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 便通を把握し食事量や水分量を管理し予防に努めている。出来るだけ散歩を促し運動の働きかけをしている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | ご本人の希望をお聞きしゆっくり1対1で介助をしている。入浴では足浴をしながらリラックスできる様に支援している。時々、入浴剤を使用し気分転換して抱く。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | 休息時にはお茶をお出ししたりゆっくりリラックスして頂ける様、配慮している。入床前は安心して頂けるよう声掛けを行い居室の温度調整をし安眠できる様支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | スタッフ一人一人理解し、薬が変更になった場合は記録し、各自が把握できるよう努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | その方に合った役割を見出し、掃除、洗濯干し、洗濯たたみ、食器拭き等お手伝いをして頂いている。また、毎日レクリエーションや散歩、買い物に行かれ楽しんで頂いている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 雨の日以外は、ほぼ毎日散歩に出掛けている。また、個別外出レクを実施しており行きたい所をお聞きして出来る限り希望に添える様支援している。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | ご自分でお金の管理できる方以外はホームで現金をお預かりしてはしておりません。買い物など必要な時は立替えをし出来る方はレジにて支払いをして頂き社会生活が持続できる様支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | ご家族様、ご本人様にお電話やお手紙を頂いた時は、やりとりが出来る様支援している。ご本人様の要望にも応えています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 常に清潔を保持するよう毎日掃除を行っている。快適な湿度、温度を心掛けている。草花を飾り楽しんで頂いている。季節の絵等壁に飾っている。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | リビングにテーブル、椅子、テレビ前にソファを配置し自由にくつろぐ空間を提供している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご家族様やご本人様の希望等相談し今まで使用していた使いなれた家具や椅子を持って来られている。居室担当者と衣類等整理整頓をしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | リビング、浴室、トイレに手すりをつけバリアフリーな設計をしている事でご自分で行える事はやって頂ける様サポートできている。 | | |

平成30年度

目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手癒しの里横浜さかえ

作成日： 平成 31年 3月 14日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|--|---|------------|
| 1 | 3 | 現在、町内会主催の草むしりに参加したり、地域の方々とも散歩中に会話をしたり顔見知りになってきた。事業所にて地域の方をお呼びして健康セミナーを開催したこともある。もっと気軽に来所して頂きたいと思っている。 | 入居者様と近所の方との交流と事業所内のみに関りではなく、地域で出来る地域貢献に取り組む。 | 事業所にて地域の方々が気軽に来所出来るよう、カフェを開いておもてなしをする。入居者様が出来ることをそれぞれ役割を持って主体的に出来るよう支援する。初めはご家族様を対象に行い次にご近所様へと展開していく。 | 6ヶ月 |
| 2 | 38 | 身だしなみについていつも同じような服装になってしまいゆっくりおしゃれを楽しんで頂く支援が不足している。朝は介助側が時間がなく選ぶ時間がないのが現状。 | いつまでもおしゃれを楽しんだりお化粧を施す事を忘れないで欲しい。 | 朝の起床介助時に洋服を選ぶのは現状厳しい部分がある。日勤者来てからでは再度着替えることになってしまうため、入床時に次の日の洋服を選び準備し、朝確認を伺って着て頂く。 | 3ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |